

Miyata Bookbinding place

株式会社
宮田製本所

PUR・並製 / 創業 明治17年



本 社

〒112-0004
東京都文京区後楽2-23-7
TEL & FAX. 03 (3814) 6762

朝霞工場

〒351-0024
埼玉県朝霞市泉水1-4-20
TEL. 048 (420) 8875
FAX. 048 (456) 5108

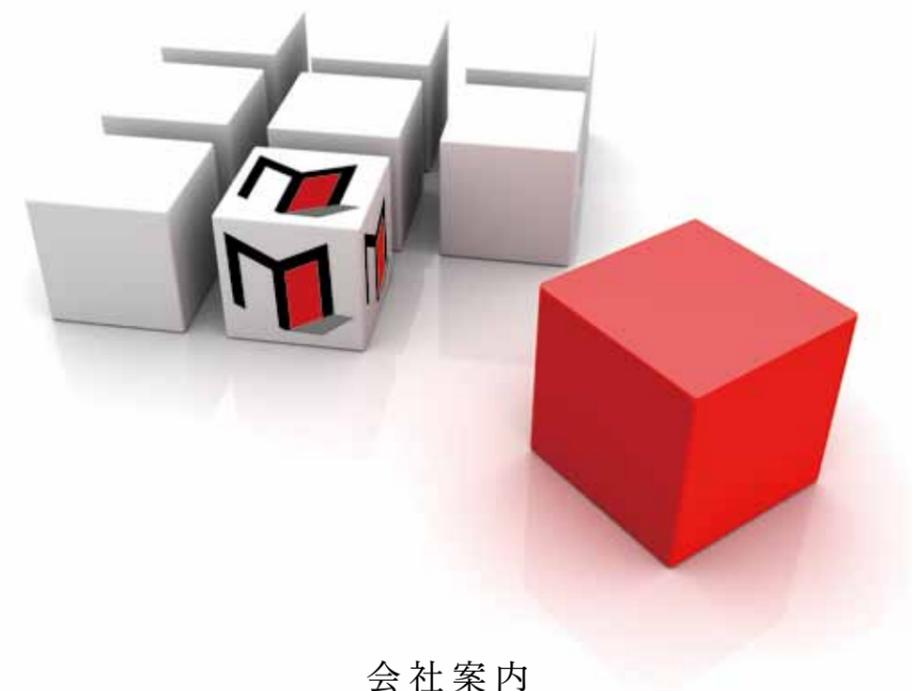
ACCESS

- ◎お車でお越しの際は、東京方面より国道254号線(川越街道)水道道路交差点を右折、野火止下交差点を過ぎて右側
- ◎電車でお越しの際は東武東上線朝霞台駅より西武バス野火止坂上バス下車1分

H P ▶ <http://www.miyataseihonjyo.com>
Mail ▶ PUR@miyataseihonjyo.co.jp



日本で一番 歴史のある製本所



会社案内

ごあいさつ

宮田製本所は、明治17年の創業の非常に歴史のある製本所です。

時代の流れにより工場も千代田区から文京区・板橋区・戸田市・朝霞市へと移転をして、作業も手作業から高速機械による製本へと変化をして参りましたが、昔と変わらず出版社様と共に良い品質と納期を厳守しエンドユーザーの愛読者に高品質の本をお届けさせていただきたいと思っております。尚、当社は丈夫で開きの良いPUR製本を平成12年から提供させていただいております。

又、今までのPUR製本の実績を一步步進めて参りました結果現在どの製本会社も行っていない製本「**アジロ綴PURツインフレックス**」製本がインラインで可能となりました。

今後もより一層の品質向上と開発に努め、社員一丸となってお満足いただける製品をお届けいたします。



株式会社 宮田製本所
代表取締役社長
渡邊 宏明

宮田製本所の歴史

明治 17 年	宮田紋三 京橋区元数寄屋橋町に創業
明治 40 年	京橋区南小田原町に移転
大正 12 年	関東大震災で焼失
昭和 2 年	神田区三崎町に工場新築移転
昭和 14 年	創業者死去 長男勝太郎継承
昭和 20 年	戦災で工場焼失
昭和 23 年	工場再開
昭和 28 年	会社設立
昭和 29 年	文京区江戸川町に工場新築移転 (現在の文京区後楽の本社)
昭和 46 年	二代目社長死去 四男四郎継承
昭和 46 年	並製本開始
昭和 53 年	板橋区向原に工場移転
昭和 60 年	本社ビル新築
平成 7 年	第 2 工場開設 (埼玉県新座市)
平成 12 年	PUR 製本開始
平成 17 年	第 2 工場板橋工場と統合
平成 19 年	役員変更 渡邊宏明社長就任
平成 19 年	埼玉県戸田市に工場移転
平成 20 年	オリジナルバインダー設備
平成 20 年	ノードソン製 PUR ノズル設備
平成 21 年	PUR 用接着剤塗布検知装置設備
平成 22 年	埼玉県朝霞市に工場移転 (約 597 坪購入)
平成 22 年	SK セールズ製丁合機設備

会社概要

■社 名 / 株式会社宮田製本所

■創 業 / 明治 17 年

■所在地 / 本 社

〒112-0004 東京都文京区後楽 2-23-7

TEL & FAX. 03 (3814) 6762

■朝霞工場

〒351-0024 埼玉県朝霞市泉水 1-4-20

TEL. 048 (420) 8875

FAX. 048 (456) 5108

■主要役員 / 代表取締役社長 渡邊 宏明

代表取締役顧問 宮田 四郎

■資 本 金 / 1,000 万円

■従業員数 / 35 名

■営業品目 / 書籍の製本加工

(PUR製本・PUR ツインフレックス製本・並製本)

単行本・文庫本・コミック・ムック等の無線とじ

アジロとじ・糸綴とじ

■製本可能サイズ

A6～A4

■主要金融機関 / みずほ銀行 飯田橋支店・東京都民銀行 春日町支店

■主要取引先 /

- 株式会社三笠書房
 - 株式会社角川書店
 - 大日本図書株式会社
 - 株式会社山と溪谷社
 - 株式会社酒井書店
 - 図書印刷株式会社
 - 日経印刷株式会社
 - 奥村印刷株式会社
 - 竹田印刷株式会社
 - マコト印刷株式会社
 - 神谷印刷株式会社
 - 萩原印刷株式会社
 - 株式会社木元省美堂
 - 株式会社フクイン
 - 株式会社上野印刷所
 - 横山印刷株式会社
 - 株式会社平河工業社
 - 株式会社大丸グラフィックス
 - 株式会社トキワメディアサービス
 - 株式会社フランス書院
 - 株式会社角川学芸出版
 - 株式会社晶文社
 - 株式会社精興社
 - 株式会社シナノ
 - 株式会社暁印刷
 - 港北出版印刷株式会社
 - 株式会社光邦
 - 株式会社廣濟堂
 - 株式会社東京印書館
- 他多数



近年製本用に開発された **PUR接着剤** を使って 丈夫で開きの良い本が製本可能です。

PUR製本の現状

PUR接着剤は、約25年前、自動車・建築・土木・その他の用途で実用化をされており、製本用に日本に登場したのが、約10年くらい前の比較的新しい接着剤です。

しかし登場以来PURは「高い」「取り扱いが難しい」という先入観から、採用される出版社及び製本業者はまだ限られているのが現状です。

(国内で製本可能な製本工場は、約40社とされています。)

■PUR製本は、それほど高いものでしょうか？

PUR接着剤の単価が日本で主に使われているEVA系ホットメルトの約3倍ということは、事実です。

しかし接着剤を薄く塗布するため使用量は、EVAの約1/2。接着剤の単価だけで考えれば価格差はそれほどないのです。

(ただしPUR製本は専用の別の設備が必要ですので設備投資が必要です。)

■PUR製本には、EVA系ホットメルト製本にはない、たくさんのメリットがあります。

- ① EVAよりも強度がある
- ② 開きが良い
- ③ 耐久性がある
- ④ 温度変化に強い(耐熱、耐寒とも優れます。地図などを夏の車内に置いても壊れません。)
- ⑤ リサイクルのための分別がしやすい。等々

■良いのは分かった、では、なぜちょっと割高？

それは、冒頭に申し上げた採用する出版社様が限られている事にも関連しています。特に最近の出版不況による多品種、小部数という傾向からそれぞれの商品に対応するための機械調整に時間を費やす事となってしまいます。そのために多少コストアップにつながってしまいますが、弊社では長年の経験によりアップ分を最小にさせていただいています。

(ほんの少しですまづは見積りをどうぞ)

弊社オリジナルバインダーによる PURツインフレックス製本とは、

従来のPUR製本は、無線綴じが主流ですが、日本で一般的に用いられているアジロ綴じには、PUR製本は、あまり向きません。PUR接着剤は、粘度が高い為アジロのスリットの奥まで届きにくく、かつ接着剤と紙が触れる面積が無線綴じに比べると少なく強度が出にくい為、接着剤を厚く使用し背も高くなる傾向が見受けられました。日本では、PUR製本をいち早く取り入れた(平成12年開始)弊社では、アジロ綴じPURの問題点をクリアするために、上製本で用いられる接着剤をダイヤモンドロールで塗布しガスヒーターで表面を乾燥させ皮膜を形成させ、そのあとにPUR接着剤を薄く塗布し表紙を付けて、背を2回プレスして成型するオリジナルバインダーを平成20年5月に導入いたしました。それにより、アジロ綴じPURによる耐久性のある丈夫で開きのよいしなやかな本が完成できます。市販の本でインラインによる製本は、まだ弊社だけの製本方式です。初版をアジロEVA系ホットメルトで製本したものを2刷からPURに変更するなどの場合、版を無線用に変更することなくPUR製本に変更できますので、印刷面のコストダウンが図れます。なお今まで糸かがり綴じで製本していた本も、強度を落とさずに製本代を大幅にコストダウンできます。ぜひ見本をご覧ください。ご用命は朝霞工場まで、ご連絡お待ちしております。

(バインダーとは折本に接着剤を塗布し、表紙を付ける機械のことです。)

■PUR製本に最適な本は？

パソコン関係やゲーム攻略本、料理のレシピ集、参考書、教科書、家計簿、写真集、地図、取り扱い説明書等々、手を離しても閉じないほうが便利な本が適しています。

当社は平成12年からPUR製本に携わっているパイオニアです。



アジロ綴じPURツインフレックスによる製本



アジロ綴・PUR使用 ツインフレックス TWINFLEX 方式

■ツインフレックス方式について

日本では、無線綴以外にアジロ綴が多く採用されています。
アジロ綴製本では、EVA系ホットメルトでしたら、満足出きる接着力が得られますが、これを完璧に接着して丈夫で開き易い製本を可能にしたのがPURツインフレックス方式です。
最初にプライマーの溶液をごく薄くダイヤモンドロールで塗り、アジロ目にしみ込ませヒーターで表面を乾燥させ被膜を作りそこに、PUR接着剤を塗布して、表紙をつけて背部を2回

プレスして成型し、くるみ本を完成させます。
従来方式ですと、粘度の高いPUR接着剤をアジロ目にローラーで無理に押し込む為、アジロ目に露出して背の高い見栄えの良くない本になりますが、これをPURツインフレックス方式で製本すればプライマーとPUR接着剤が一体となって理想的な見栄えの良い100年製本と言われるしなやかで丈夫な本が完成します。

100年製本と言われるしなやかで丈夫な本が完成します



①プライマー塗布



②ヒーター乾燥



⑤Wプレス成型



④表紙と合体



③PUR接着剤塗布



⑦三方断裁



出来上がり

主要設備

PURライン 丁合から完全包装まで一環ライン！

丁合機：SKセールス製（乱丁、落丁自動排出装置付）
30駒（集中制御型乱丁防止装置・ウェブテック製付）
PUR無線綴機：SKセールス製 OM-6型（広開本もインライン）
ノードソン製：PUR用 コーティングヘッド
レアリー製：PUR用 接着剤塗布検知装置
ウェイトチェッカー及び側長機：アンリツ製
三方断裁機：芳野製
トライオート：西岡製 NK-53型
自動梱包機：山田機械工業製



並製ライン 丁合から完全包装まで一環ライン！

丁合機：芳野マシナリー製
18駒（画像乱丁防止装置・トライデント芳野マシナリー製付）
ウェイトチェッカー及び側長機：アンリツ製
高速無線綴機：芳野マシナリー製 120型
三方断裁機：芳野マシナリー製
トライオート：西岡製 NK-53型
自動梱包機：山田機械工業製



その他の設備

断裁機 2台 16P折機 2台 4P・8P折機
2穴機 角丸機 貼り込み機



配送関係

トラック：4台 フォークリフト：3台

